



市川市 市制施行90周年

令和6年度 体験学習事業

市川米っ人くらぶ

「農業・稲作体験ガイド」



登録番号 _____ 班 _____ 番

世帯名 _____

やくそくしよう！

1 おおきなこえであいさつをしよう

2 おともだちをいっばい行って
みんなでいっしょうけんめいがんばろう

3 さぎょうのはなしは、しっかりきいて
けがをしないようにしよう

——— 保護者の皆様へ ———

お子さんと一緒に ご家族で楽しく怪我のないように
野菜作りお米作りを体験して たくさん思い出を作ってください。



米っ人くらぶの活動について

1. 活動日時

(1) 活動日 **土曜日の午前中(月 2 回程度)** ※詳細は「活動予定表」3ページ参照

(2) 時 間 **午前 9 時から正午まで (受付は午前 8 時 30 分から)**

*活動当日は、最初に受付までお越しください(受付では、登録番号、出席者名をお伝えください)。

2. 活動場所

小川再生親子ふれあい農園内 子ども水田

(**市川市大野町 4 丁目 2398 番 1 他**) ※案内図は4,5ページ参照

3. 服装

帽子、長袖、長スボン、田んぼ用の足袋 ※汚れてもいい服装

4. 持ち物

着替え、タオル、薄手の作業手袋、水筒、バケツ、レジャーシート、など

*活動場所には日陰になる場所がありません。ポップアップテントなど日除けのできる物があると便利です。

*更衣室はありません(女性用に、簡易な物置小屋の一角をお貸しすることはできます)。

*水道はありません(井戸があり、ものを洗うことができますが、水を飲むことはできません)。

*仮設トイレがありますが、できるだけ家を出る前にトイレをすませておきましょう。

5. 荒天時

原則：雨天は活動中止 ※田植え等小雨決行の場合があります。

活動日である土曜日が荒天の時、次週に予備日(土曜)が設定してある場合はその日に延期(予備日も活動できない場合は中止)

延期や中止は、活動前日午後 5 時までにホームページ及びメールでお知らせします。

(URL ⇒ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu10/1111000005.html>)

なお、お問い合わせいただく場合は、下記へお願いします。

～お問合せ～

月～金 午後 5 時 30 分まで：青少年育成課 TEL383-9419

月～金 午後 5 時 30 分以降：守 衛 室 TEL712-8691

土・日祝日 守 衛 室 TEL712-8692

*天候状況によっては、当日に急遽活動を中止する場合がありますので、当日の朝に雨が降っている場合等は、午前 7 時 30 分以降に守衛室に電話でご確認ください。

6. その他

(1) ふれあい農園内及びその周辺は、小川や用水路など、小さなお子さんには危険な場所もありますので、ご注意ください。

(2) 鍬や鎌などを使用する作業もありますので、お子さんが使用する場合には十分に気をつけ、怪我等のないようお願いします。

令和6年度 市川米っ人くらぶ活動予定表

	活 動 日		予 備 日		活 動 内 容	場 所	シール
1	4月6日	(土)			参加者説明会	市役所第2庁舎 4階大会議室1・2	
2	4月20日	(土)	4月27日	(土)	代掻き、畦塗り、長ねぎ・里芋植え、小松菜種まき	子ども水田	
3	5月11日	(土)			落花生種まき 田植え	〃	
4	5月18日	(土)	5月25日	(土)	補植、さつま芋・南瓜植え、 小松菜収穫	〃	
5	6月1日	(土)			昆虫教室、ジャガイモ収穫、 田草取り	〃	
6	6月15日	(土)	6月22日	(土)	玉ねぎ収穫 田草取り	〃	
7	7月13日	(土)	7月20日	(土)	防鳥糸張り 烟草取り	〃	
8	8月17日	(土)			はぜ作り、大根種まき、 南瓜収穫	〃	
9	8月31日	(土)			稲刈り①、はぜ掛け	〃	
10	9月7日	(土)	9月14日	(土)	稲刈り②、はぜ掛け 防鳥糸片付け	〃	
11	9月21日	(土)			脱穀、はぜ片付け	〃	
12	10月5日	(土)			落花生収穫、さつま芋掘り	〃	
13	10月19日	(土)			長ねぎ・里芋・大根収穫	〃	
14	10月26日	(土)			収穫感謝祭	少年自然の家	

○小川再生親子ふれあい農園（活動場所）までのアクセス

●車でのアクセス

グーグルマップなどを利用して「千葉県立特別支援学校市川大野高等学園」と検索し
自宅よりルートを探索してください。

詳細図 大野高等学園周辺



●バスでのアクセス

○行き 乗車場所 JR本八幡駅 北口 京成バス2番のり場 行先「医療センター入口」行きに乗る
降車バス停 「医療センター入口」 終点 *料金 320円 [IC 315円] (小児半額)
時刻表 直 通 本八幡駅発 7:51 医療センター入口着 8:24
8:10 医療センター入口着 8:43

○帰り 乗車場所 医療センター入口から 行先「JR本八幡駅」行きに乗る
降車バス停 「JR本八幡駅」 終点
時刻表 医療センター入口発 11:22 11:38 11:50 12:10 12:20 12:35

※所要時間は約35分になりますが道路事情により遅れる場合があります。

【子どもの料金について】

- ・6歳以上12歳未満（小学生） → 小児運賃（半額）
- ・1歳以上～6歳未満（幼児） → ①6歳以上（小学生）が同伴する幼児2人までは無賃
②幼児1人で乗車した場合は小児運賃（半額）
- ・1歳未満 → 無賃

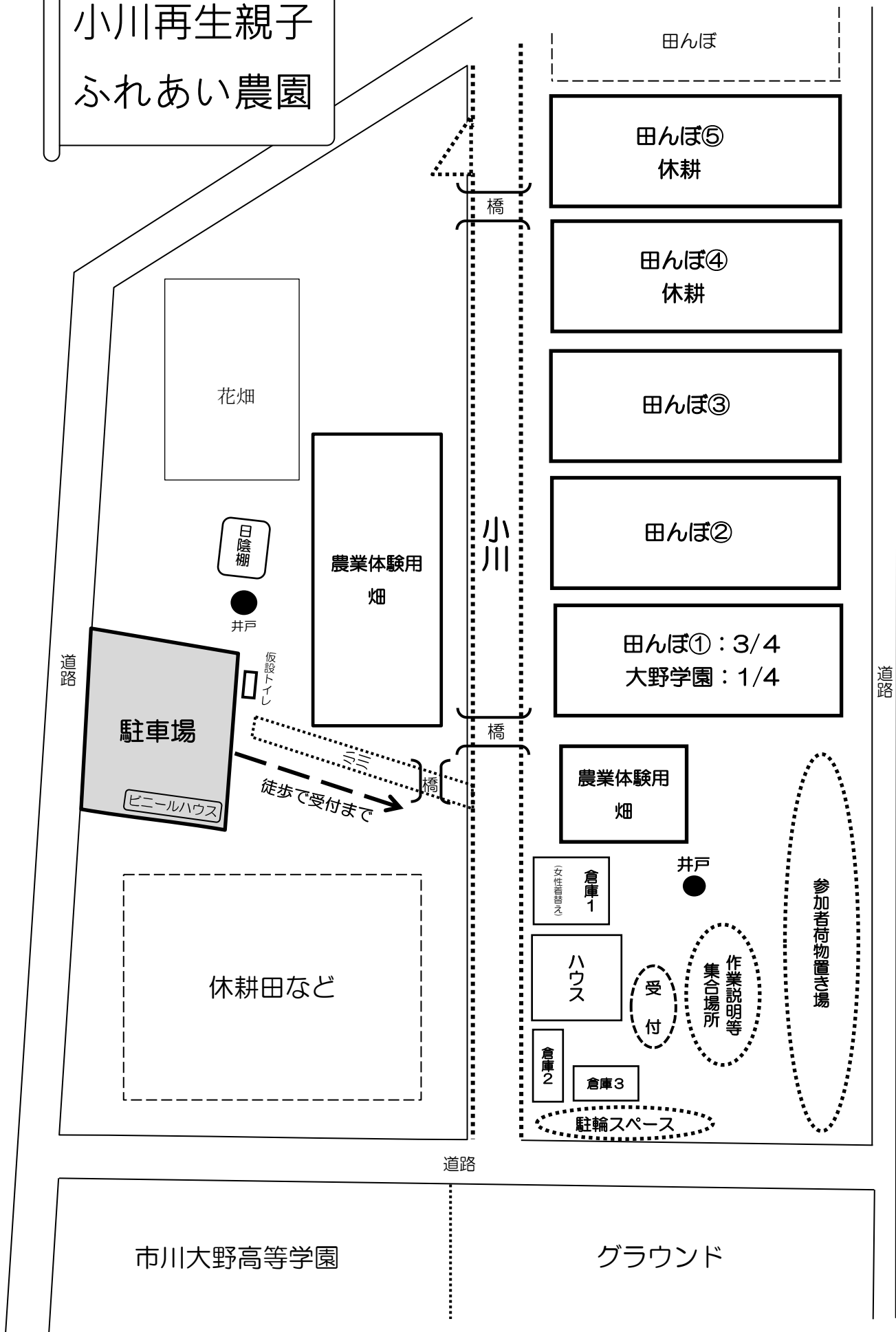
*詳しくは <http://www.keiseibus.co.jp/rosen/about/child.html> をご覧ください。

京成バス市川営業所 → TEL 047-337-1451

(バス車内での忘れ物、距離、所要時間等、各種問い合わせ)

京成バスホームページ → <http://www.keiseibus.co.jp/>

小川再生親子
ふれあい農園





①代掻き



②田植え



③田草取り



④昆虫教室



⑤烟草取り



⑥はぜ作り



⑦稲刈り



⑧脱穀

活動のようす



4月長ねぎ植え



6月ジャガイモ掘り



5月さつま芋植え

活動のようす



10月さつま芋収穫



6月小松菜収穫



10月落花生収穫



6月落花生植え



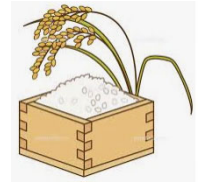
10月長ねぎ収穫



調べてみよう！

おこめができるまで

～関東地方の稲作の一例～










<p>たねもみ ようい 種籾を用意 (3月)</p>	<p>おいしい米づくりは、よい種籾（苗のもとになるお米）を選ぶことからスタートします。塩水で中身が充実した種を選び、病気にならないように消毒して、水分を十分に吸わせて発芽させます。</p>
<p>た たがや 田を耕す (3月～4月)</p>	<p>米づくりは土づくり。土には、水と肥料と酸素が大切になります。冬の間眠っていた土を掘り起こし、配合肥料（チッ素、リン酸、カリ）や堆肥（糞や籾殻などを熟成させた有機肥料）を混ぜて、酸素をたっぷりと吸わせます。「田起こし」ともいいます。また、田んぼの水が漏れ出ないように、上から土を塗り重ねてあぜ道を補強します。</p>
<p>たねもみ 種籾をまく (4月)</p>	<p>発芽した種籾を栄養たっぷりの土（畑）にまいて、ビニールで覆って温度を一定に保ち、元気な苗に育てます。</p>
<p>しろか 代掻き (5月)</p>	<p>耕した田んぼに水を入れて、土と混ぜながら平らにします。水の深さがそろい、水はけも均一で肥料が全体に行き渡り、これで稲がむらなく成長できる条件が整います。</p>
<p>なえぬ 苗抜き (5月)</p>	<p>苗抜きは田植えの前日に行います。元気に育った苗を畑から一本ずつ抜いて、片手で持てる程度に藁で束ねます。束ねた苗は田んぼや用水路に浸けておきます。</p>
<p>たう 田植え (5月)</p>	<p>田んぼの端に一列に後ろ向きに入ります（あぜはまだやわらかいので乗らないこと）。束ねた苗から2～3本ずつ取り、目印に沿って植えます。全員が植えたら後ろに下がって自分たちの足跡を直して、また同じように植えていきます。植え終わった田んぼには水を張ります。</p>
<p>水の管理 (5月～8月)</p>	<p>苗は1週間ほどで根を張り、約2ヶ月で分けつ（枝分かれ）を繰り返します。植えたばかりの苗は非常に弱く、田んぼに引いた水が苗を守ってくれます。根がつくまで毎日水の確認をして、寒い日には水量を増やします。分けつ後、1週間くらいは水を抜いて、土の中のガスを抜き新鮮な酸素を取り入れます（中干し）。暑い時期になると稲には養分が必要となり、水と肥料を十分に与え、丈夫な稲に育てます。</p>



<p>草取り (6月～7月)</p>	<p>あたら ね の ようぶん きゅうしゅう ざっそう と れつ 新しい根がどんどん伸びて養分を吸収できるように、雑草を取ったり列 の間を 耕したりします。</p>
<p>ぼうちょういと は 防鳥糸張り ぼうちょう は 防鳥ネット張り (8月)</p>	<p>「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」などと言われるように、稲の花が受粉し て実(米)が育つとやがて重く垂れ下がります。この頃になると、スズメ などの野鳥に狙われるため、田んぼ全体に防鳥糸や防鳥ネットを張って 野鳥から稲を守ります。</p>
<p>ぬき たぼ 水抜き～田干し (8月～9月)</p>	<p>稲の実り具合を見ながら水を抜きます。</p>
<p>はぜづくり (9月)</p>	<p>刈り取った稲を干すために、鉄パイプで稲の重さや台風に負けないしっか りした物干し、「はぜ」を作ります。</p>
<p>いねか 稲刈りと はぜ掛け (9月)</p>	<p>いよいよ実った稲の刈り取りです。一株ごと土から5cmほど上を鎌で刈り 取っていき、直径10cmくらいの束になったら藁で縛って束ねます。束ね た稲を半分に分けてはぜに掛け、天日に干して十分に乾かします。</p>
<p>だっこく もみす 脱穀・籾摺り (9月～10月)</p>	<p>よく乾燥した稲を、藁と籾に分けます。これを「脱穀」といいます。脱穀し た籾から殻を取り除く「籾摺り」を行った後、残った中身が「玄米」で、茶色 をしています。これは、表面がヌカの層に覆われているからです。お米屋さ んでは、この玄米の状態です。このヌカ層を取り除く「精米」 を行うと、みんなが食べているおいしい「白米」になります。</p>



おいしいやさいをつくる

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
こまつな 			← 露地栽培 (露天栽培)	← 寒冷紗被覆がおすすめ (寒冷紗被覆がおすすめ)						トンネル栽培で 10月下旬～3月上旬まき 12月下旬～4月収穫が可能		
ながねぎ 	春まき 秋まき											
サツマイモ 												
かぼちゃ 												
らっかせい 												
だいこん 												
たまねぎ  早生種 中生種 中晩生種 晩生種 秋まき用品種												

こまつな たねまき
 小松菜の種まき
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し60cm幅の畝を作ります。
 畝幅20～30cmにうすく小松菜の種を2列にうすくすまします。
 2週間ほどしたら、小松菜が出てきますので、虫食いや奇形苗、
 小さい苗などを間引きします。混んでいる所を中心に行います。
 2回ほど間引きを行い株間を5cm位にします。20日～25日で収穫になります。

ながねぎの植え付け
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し60cm幅の溝を作ります。
 株間20cmに1本ずつネギ苗を植えていきます。
 長ネギの土寄せ
 畝の両側から土をかけて葉の分岐点には土がかからないように土寄せをおこないます。
 3回くらい分けて土寄せをおこないます。追肥(化成)も行います。

サツマイモの植え付け
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し高さ20cm幅60cmの畝を作ります。
 サツマイモの苗を斜めに1m間隔に植え付けます。お水をたっぷりと苗に与えます。
 8月にはつる返しを必ずやりましょう。

かぼちゃの苗植え
 牛糞、化成肥料を入れて畑を起こして高さ20cm幅60cmの畝を作り
 黒マルチを畝にはり、穴をあけて南瓜の苗を1m間隔に植え付けます。
 お水をたっぷりと苗に与えます。

らっかせいの種まき
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し30cmの間隔で直接3粒ずつまきます。

だいこんの種まき
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し幅60cmの畝に90cm間隔に種を1粒ずつまく。
 お水は種が流れてしまうので、水は静かに与えます。
 9月 大根の土寄せ畝の両側から土をかける。

たまねぎの植え付け
 牛糞、化成肥料を入れて畑を耕し、玉葱用黒マルチを張り玉葱の苗を1本ずつ
 マルチの穴に植え付ける。収穫は来年の6月になります。

タネまき 育苗・生育 定植 収穫

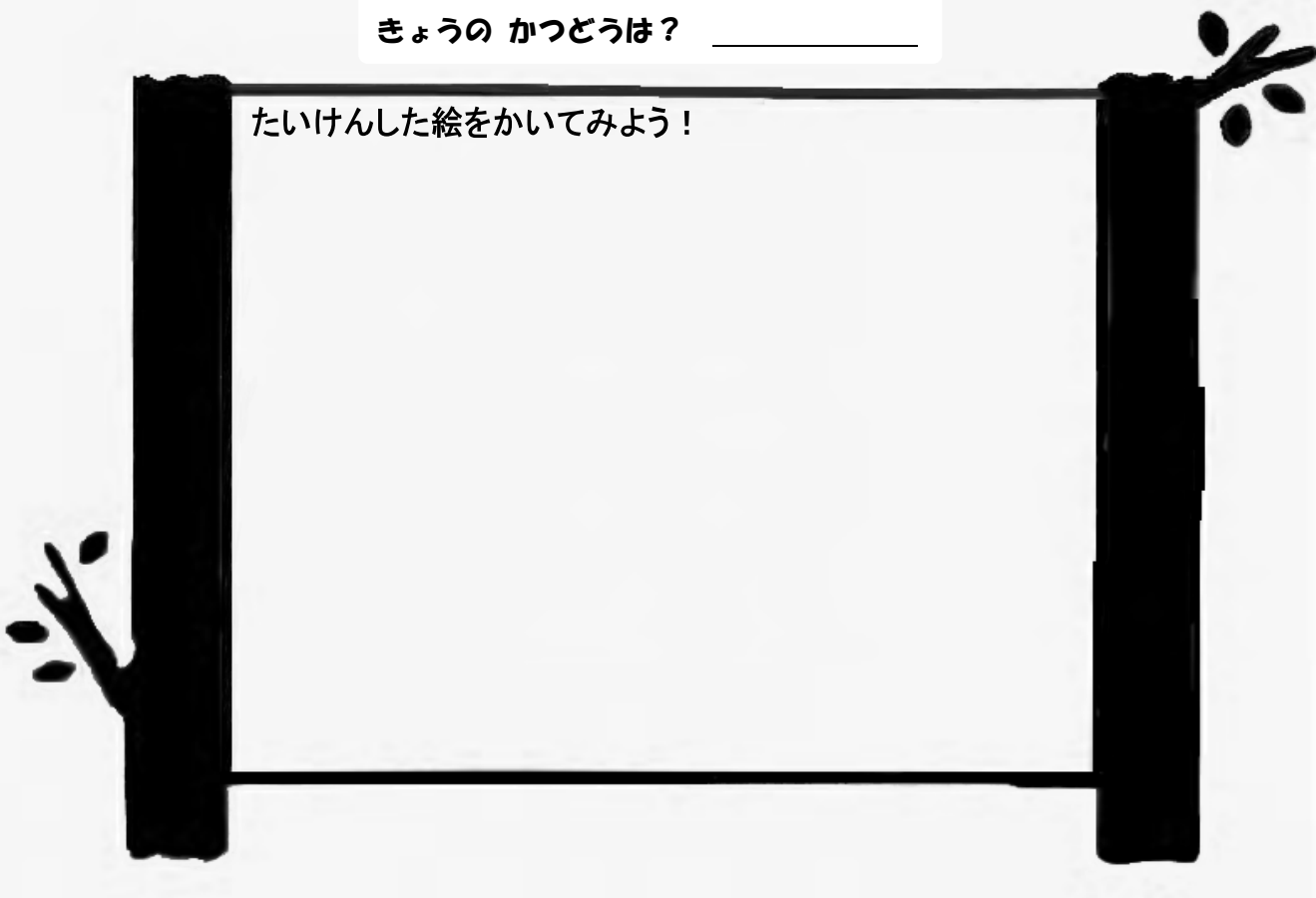
こめっとくらぶ かつどうにつき



きょうは ... がつ 日にち (ようび 曜日) てんき

きょうの かつどうは? _____

たいけんした絵をかいてみよう!



たのしかったことやおもしろかったことは何ですか? かんじたことをかいてみましょう!

★保護者の方から一言★



市川米っ人くらぶ

(市川市教育委員会 青少年育成課内)

〒272-8501 市川市南八幡2丁目20番2号
市川市役所第2庁舎4階

Tel 047-383-9419

Fax 047-383-9405

Mail seisyonenikusei6@city.ichikawa.lg.jp